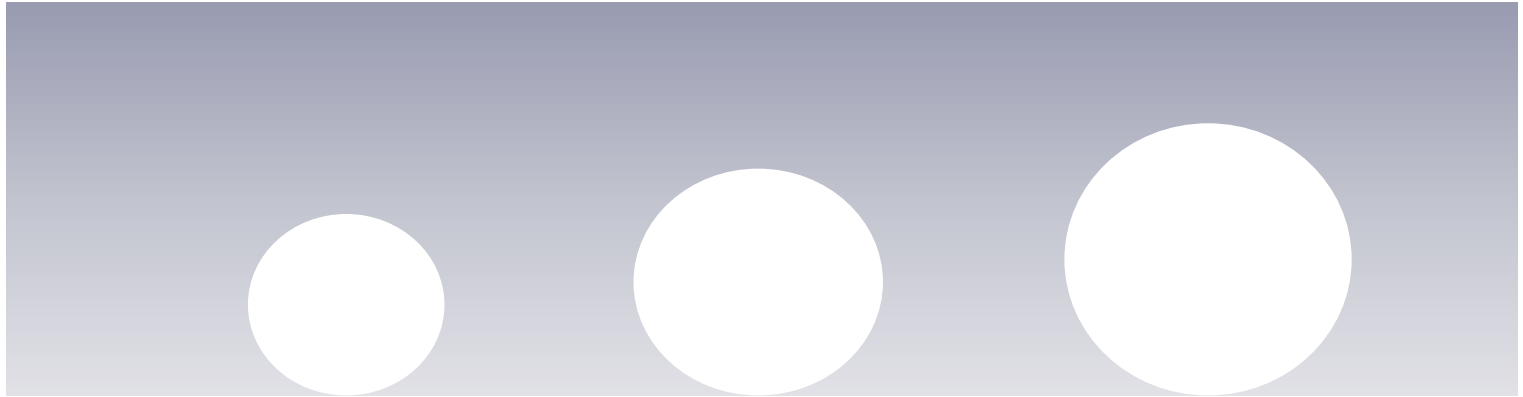


個人投資家向け説明会



アイホン株式会社

証券コード：6718



代表取締役社長
市川 周作

アイホンとはインターホンを中心とした コミュニケーションとセキュリティのシステムメーカーです。

集合住宅向けシステム

アパートやマンション等集合住宅の
入居者の快適性・安全性をサポート！



医療・福祉施設 高齢者住宅向けシステム

病院、特別養護老人ホーム、高齢
者住宅等ヘナースコールを提案！



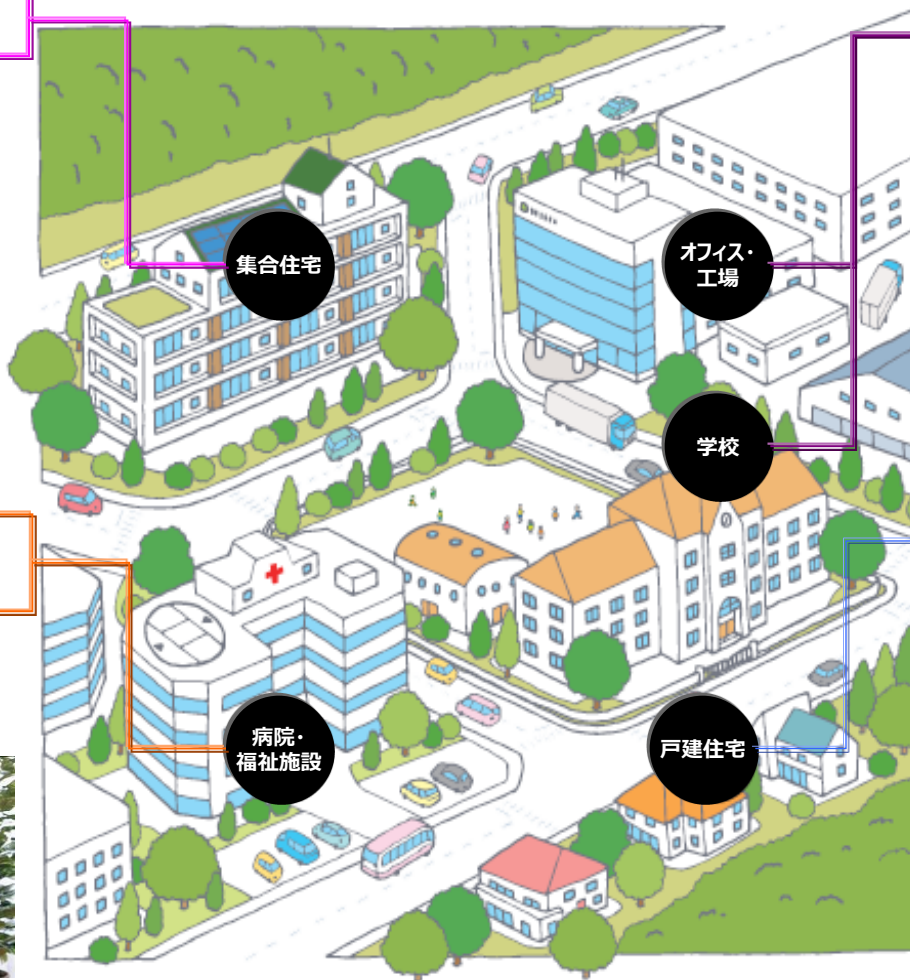
オフィス・工場 公共施設向けシステム

学校、公共施設、商業施設等へセ
キュリティ効果の高い、出入口管
理をご提案！



戸建住宅向けシステム

玄関と室内の連絡用のテレビドア
ホンセットを中心に販売！システム
の構築でご家庭のセキュリティ強化
をサポート！



会社概要

社 名： アイホン株式会社
本 社： 名古屋市中区新栄町一丁目 1 番
 明治安田生命名古屋ビル
代 表 者： 市川 周作
設 立： 1 9 5 9 年 3 月 1 6 日
資 本 金： 5 3 億 8, 8 8 4 万円
従 業 員 数： 1, 9 4 6 名（連結）
 1, 0 5 8 名（個別）
上 場： 東京証券取引所市場第一部
 名古屋証券取引所市場第一部
1 単 元： 1 0 0 株

証券コード

6 7 1 8

※2018年3月31日時点

ネットワーク（国内事業所）

札幌支店

東北支店

盛岡営業所

郡山営業所

北関東支店

宇都宮営業所

新潟営業所

長野営業所

東京支店

東京東営業所

東京南営業所

多摩営業所

千葉営業所

横浜支店

名古屋支店

金沢営業所

静岡営業所

大阪支店

京都営業所

神戸営業所

中・四国支店

岡山営業所

高松営業所

九州支店

北九州営業所

鹿児島営業所

開発センター



本社



豊田工場



9 支店

17 営業所



ネットワーク（海外子会社）

販売子会社：5カ国

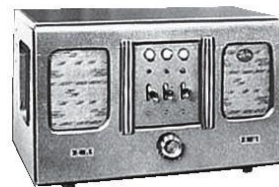


会社の沿革

アイホンの創業は1948年（昭和23年）

合資会社東海音響電気研究所を設立。ラジオや拡声器の修理を始める

- 1951年 旅館、病院向けにインターホンの生産を開始
- 1952年 社名を愛興高声電話器合資会社に変更
インターホン専門メーカーとしての体制を整える
真空管式同時通話インターホン「テーターホン」の発売
- 1954年 製品商標を「アイホン」とする
- 1957年 南アフリカ連邦に初輸出



真空管式同時通話
インターホン「テーターホン」



1956年頃の本社

アイホンの設立は1959年（昭和34年）

株式会社へ改組、社名を アイホン株式会社とする

- 1970年 アメリカにAIPHONE USA Inc.（現在の AIPHONE CORPORATION）を設立
- 1981年 デミング賞の受賞
- 1982年 テレビインターホンの発売
- 1990年 名古屋証券取引所市場第二部に上場
- 1996年 フランスにAIPHONE S.A.（現在のAIPHONE S.A.S.）を設立
- 1999年 東京証券取引所市場第二部に上場
- 2000年 東京証券取引所市場および名古屋証券取引所市場第一部に上場
タイにAIPHONE COMMUNICATIONS (THAILAND) Co.,LTD.を設立
- 2007年 ベトナムにAIPHONE COMMUNICATIONS (VIETNAM) Co.,LTD.を設立
- 2012年 シンガポールにAIPHONE PTE.LTD.を設立
- 2014年 オーストラリアにAIPHONE PTY LTDを設立
- 2015年 本社を名古屋市中区に移転 イギリスにAIPHONE UK LIMITEDを設立
- 2018年 6月1日 創立70周年



品質管理の最高賞
デミング賞受賞



AIPHONE COMMUNICATIONS
(THAILAND) Co.,LTD.

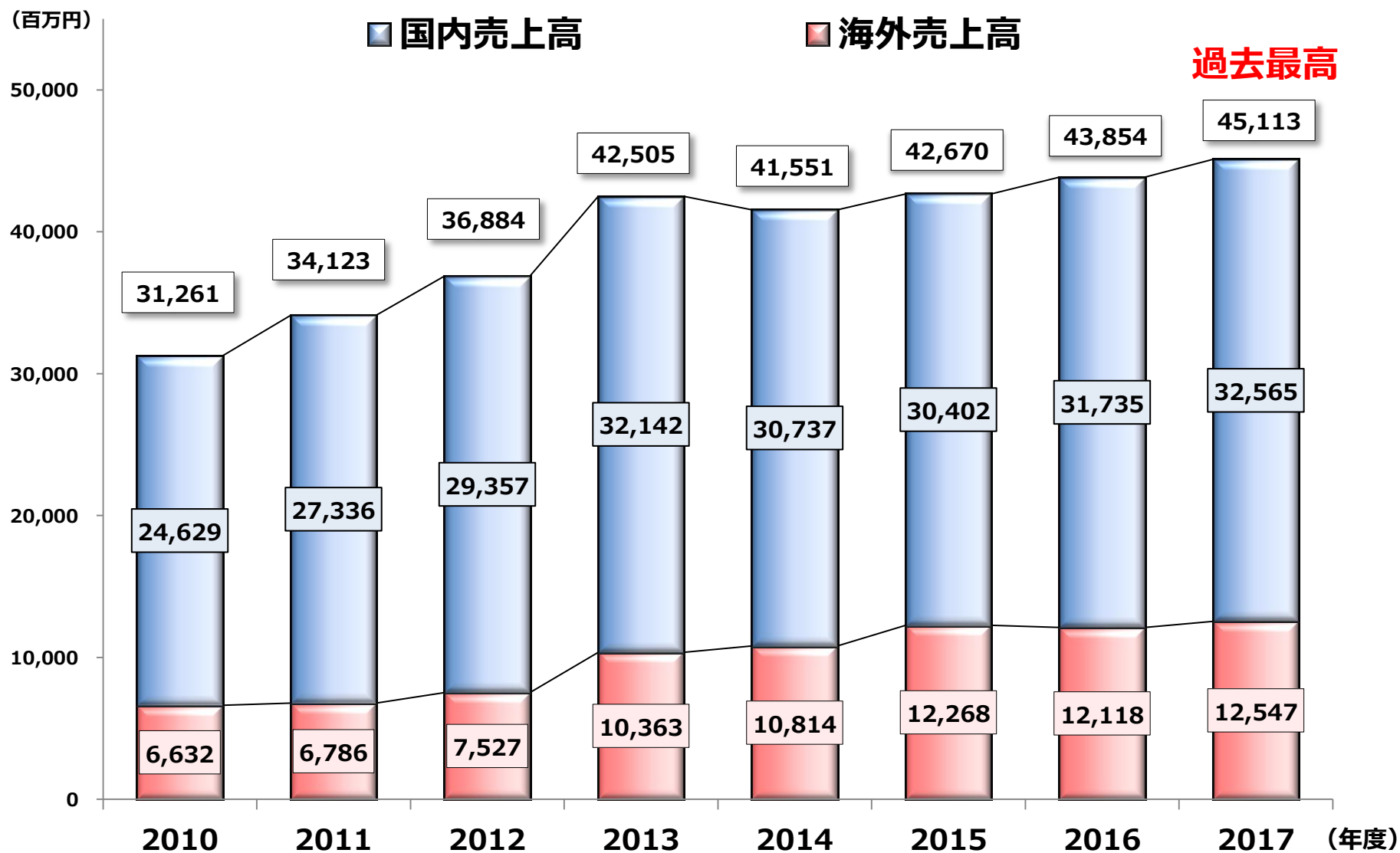
当社の経営理念

われわれの合言葉

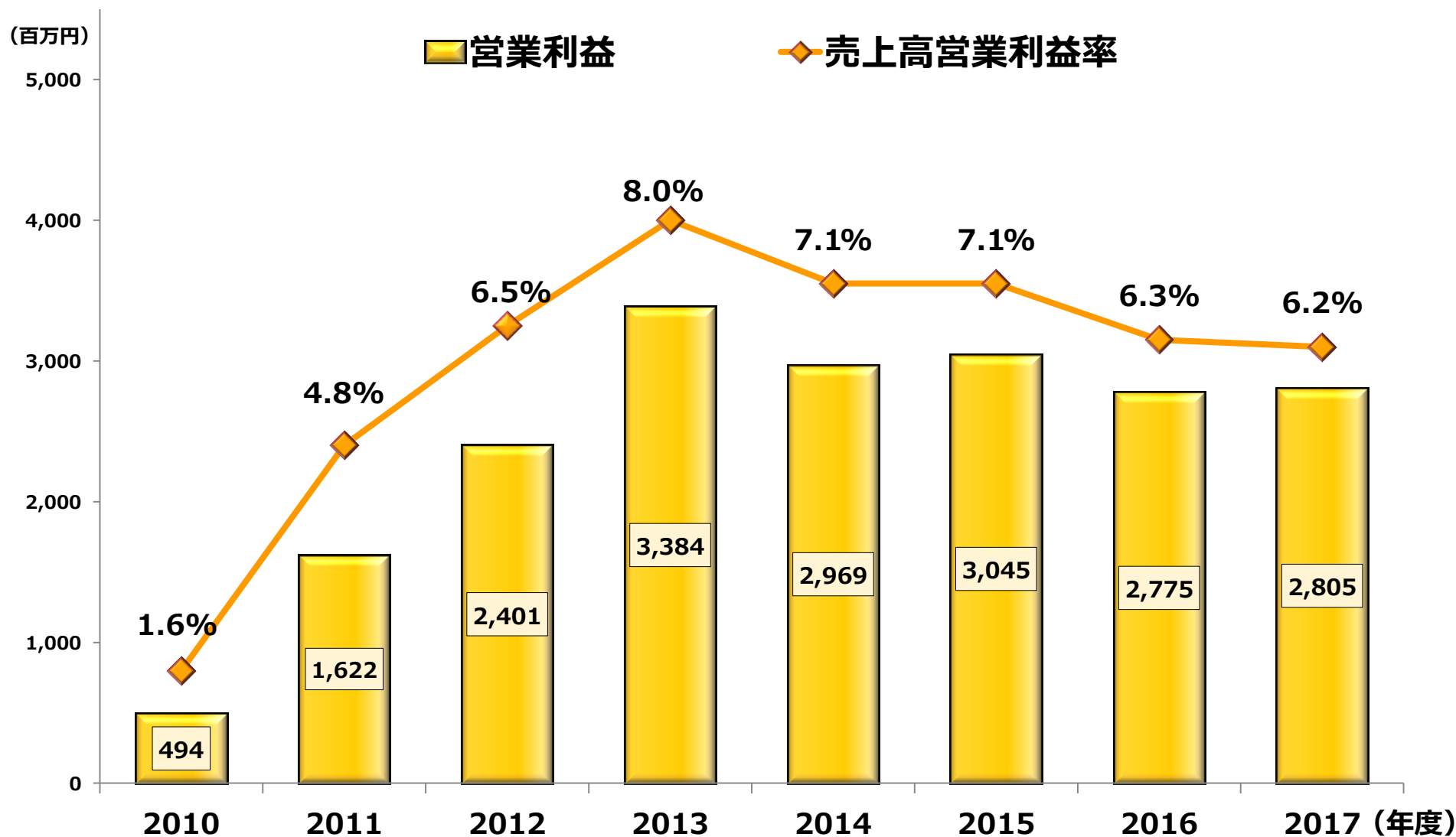
自分の仕事に責任を持って

他人に迷惑をかけるな

連結売上高の推移



営業利益の推移



2019年3月期第3四半期決算の状況（連結） （百万円）

	2019年3月期 第3四半期	2018年3月期 第3四半期	前年同期比
売上高	32,496	31,849	102.0%
営業利益	1,417	1,354	104.6%
経常利益	1,452	1,355	107.1%
純利益	1,259	997	126.3%

決算のポイント

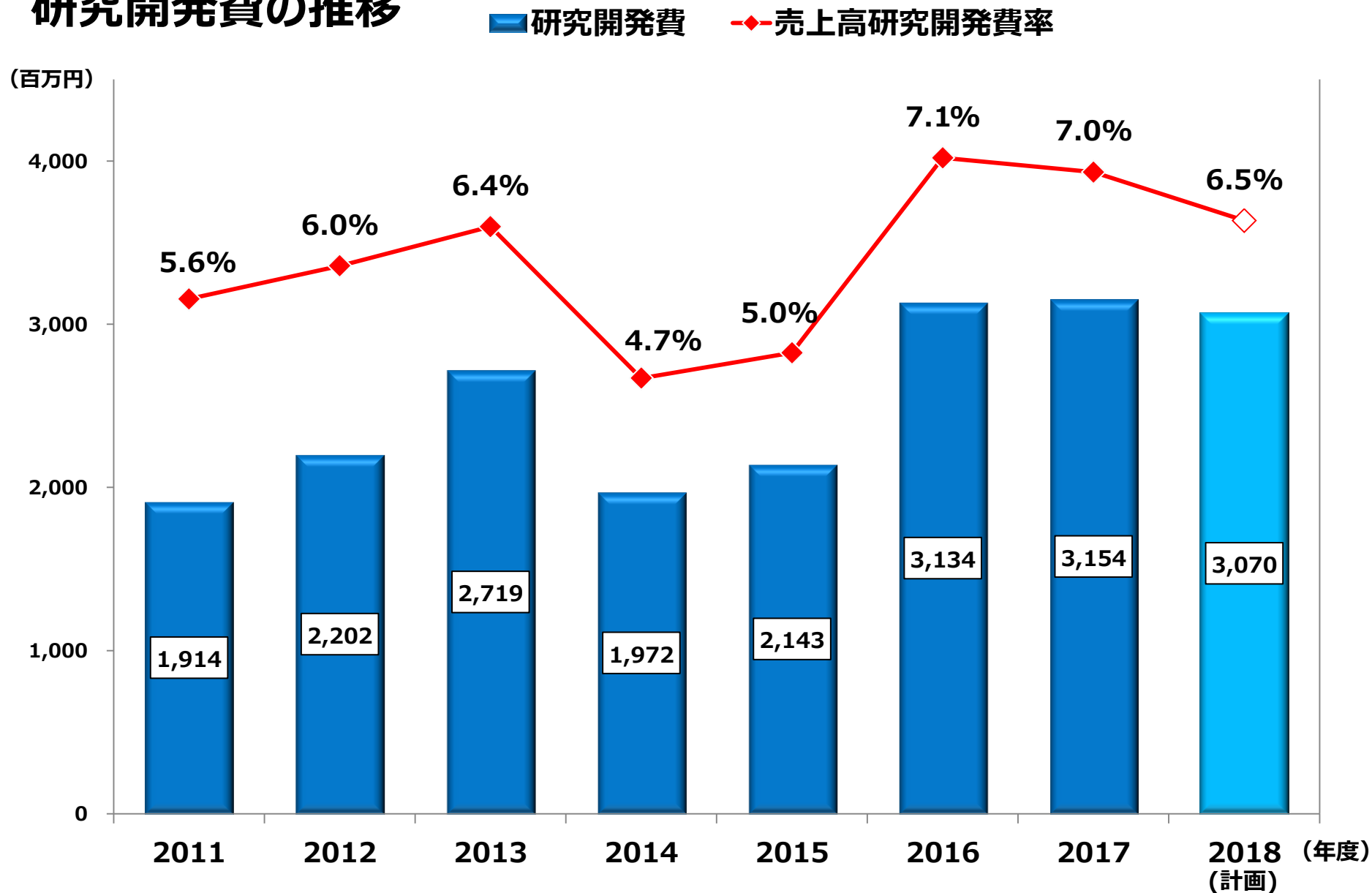
- ◆ **国内市場**：既存の集合住宅や病院・高齢施設などのインターホン需要が拡大。
- ◆ **海外市場**：北米・・・業務市場を中心にセキュリティニーズが高く、販売が好調に推移。
欧州・・・テレビドアホンや公団住宅などの集合住宅システムの戦略的な受注が功を奏し販売が好調に推移。
- ◆ **利益**：四半期純利益・・・投資有価証券売却益の影響により増益。

主な経営指標

株価収益率【PER】（連結）	： 19.34倍
株価純資産倍率【PBR】（連結）	： 0.64倍
自己資本利益率【ROE】（連結）	： 3.4%
1株あたり純利益【EPS】（連結）	： 94.02円
1株あたり配当	： 32円
配当利回り	： 1.8%
配当性向（連結）	： 34.0%
1株純資産【BPS】（連結）	： 2,822円
自己資本比率（連結）	： 84.3%

※2018年3月31日時点

研究開発費の推移



配当実績

■ 中間配当

■ 中間特別配当

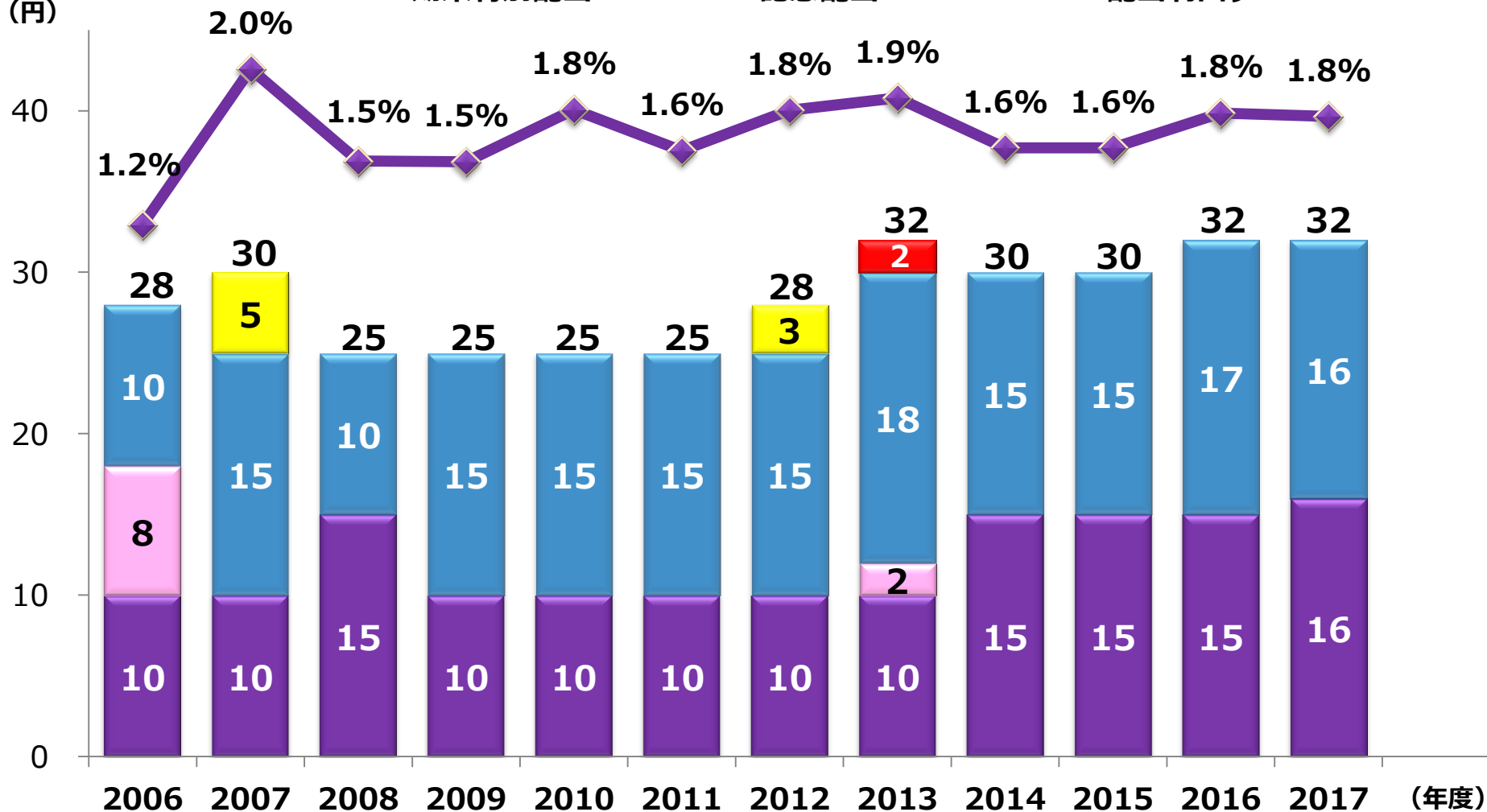
■ 期末配当

■ 期末特別配当

■ 記念配当

◆ 配当利回り

(円)



(年度)

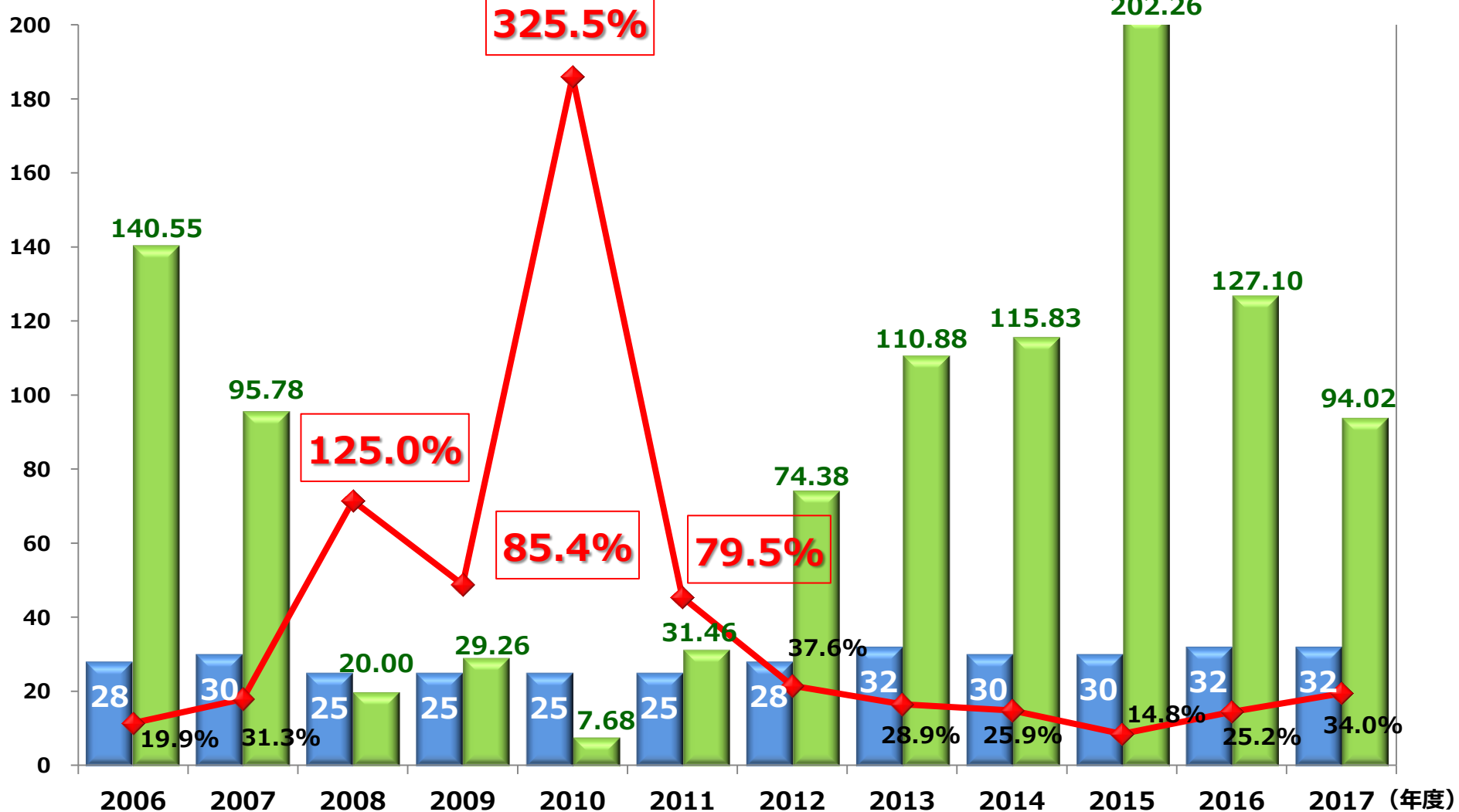
配当性向の推移

■年間配当

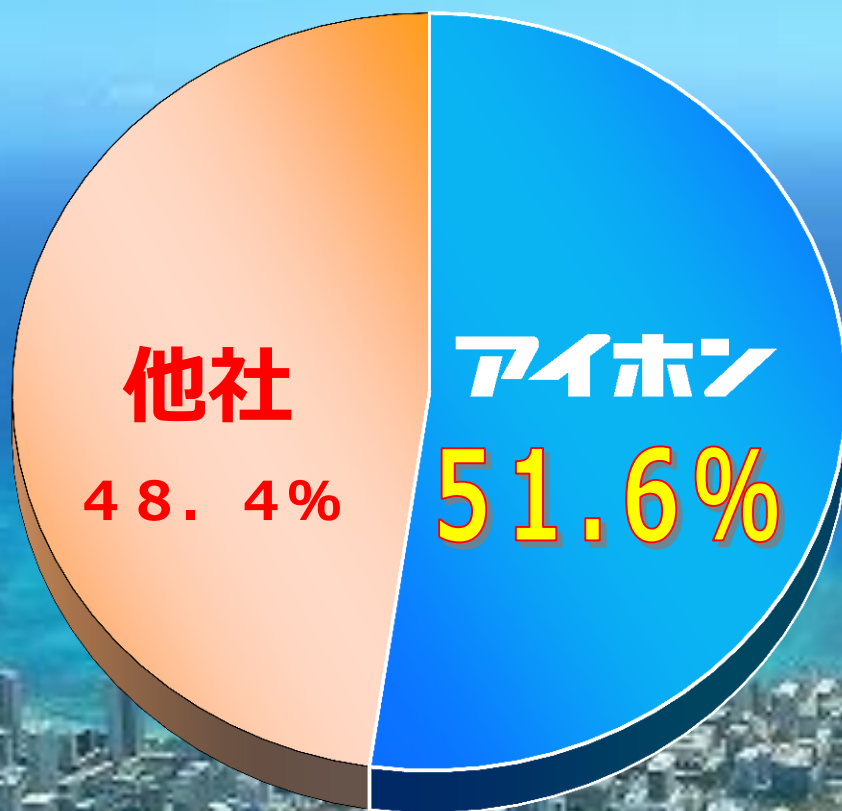
■1株あたり当期純利益（連結）

◆配当性向

(円)



インターホン業界シェアトップ！



シェア

51.6%

(総需要991億円)

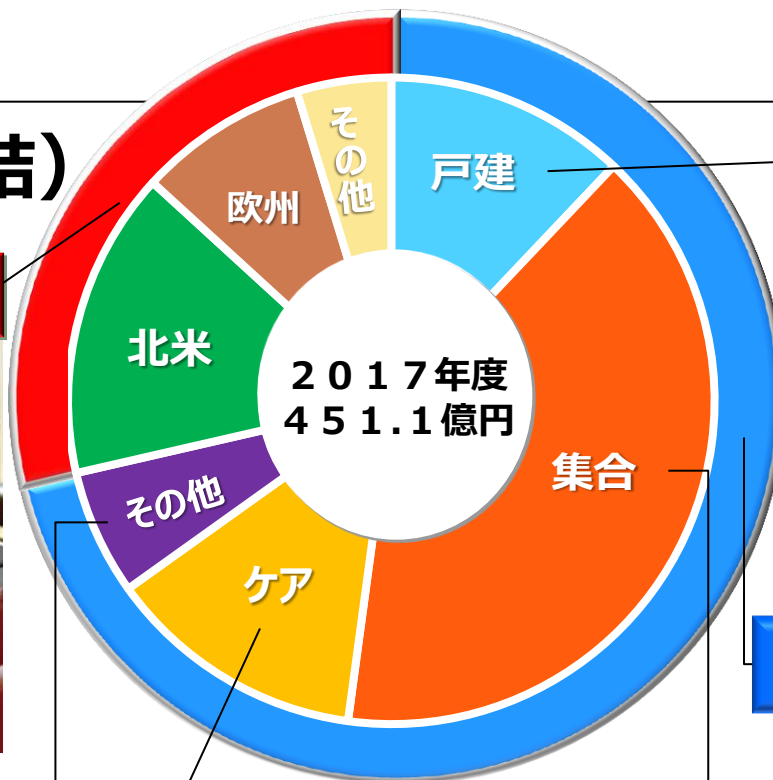
2017年度 (当社調べ)

売上構成比（連結）

海外市場



その他市場



戸建市場



国内市場

集合市場



ケア市場

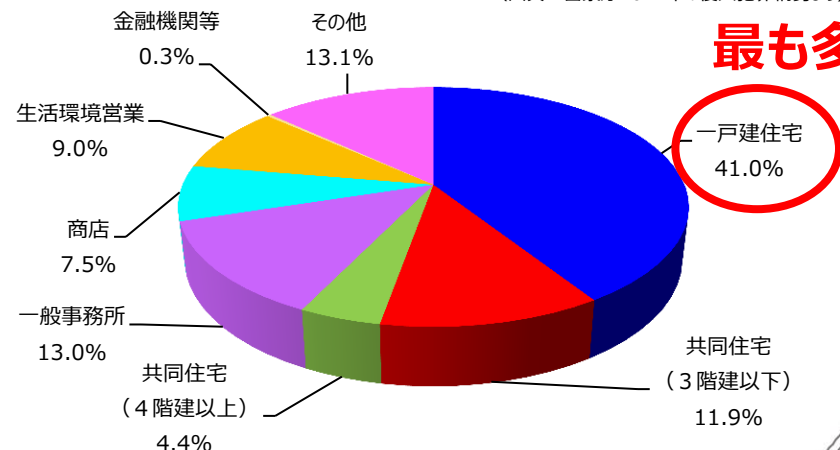


戸建住宅市場

テレビインターホンは、ご家庭における身近な防犯に役立っています。

■ 侵入窃盗の発生場所別認知件数

(出典：警察庁2017年の侵入犯罪情勢より)



■ 侵入盗の行動パターン・不在確認方法

(戸建住宅の場合) (出典：(財)都市防犯研究センター JUSRIレポートより集計)

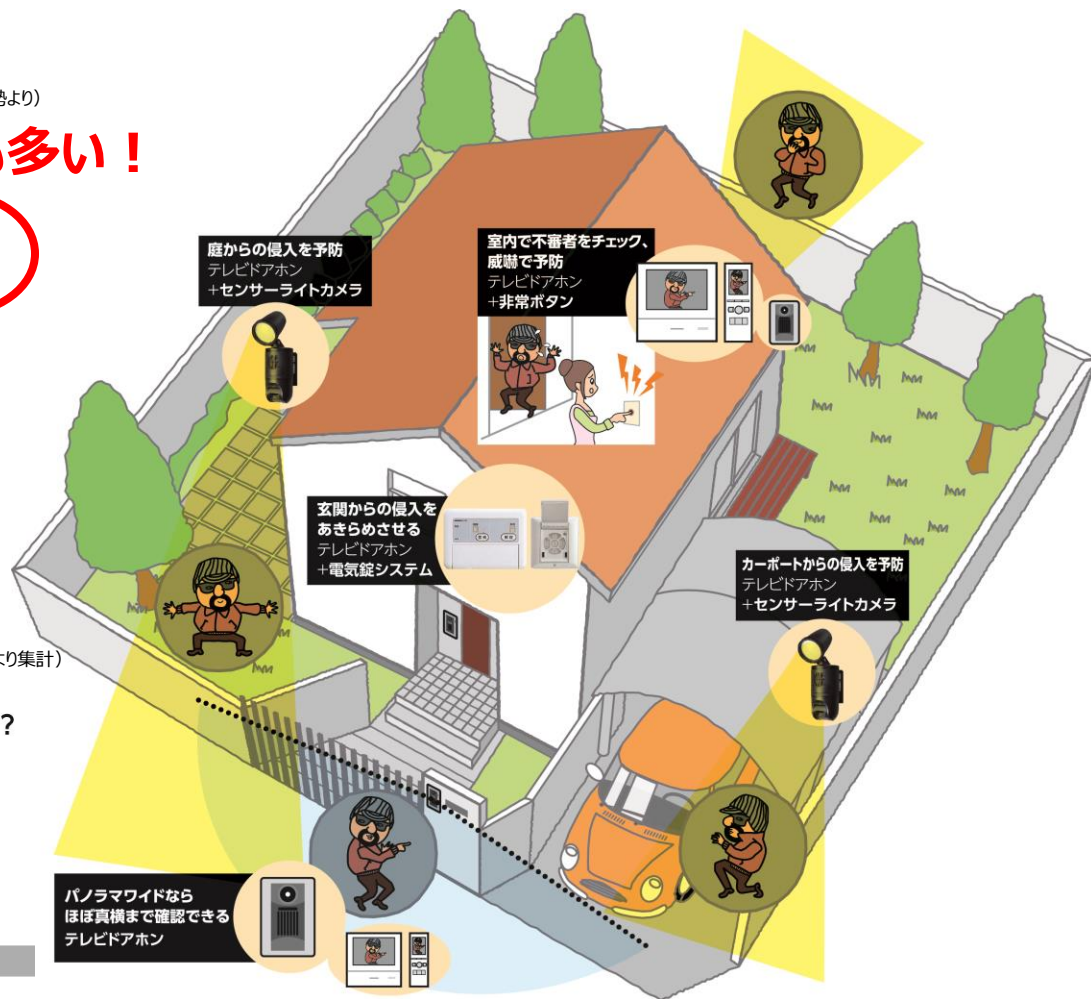
下見で目をつけるのは？

約45%

玄関のインターホンで呼んでみる

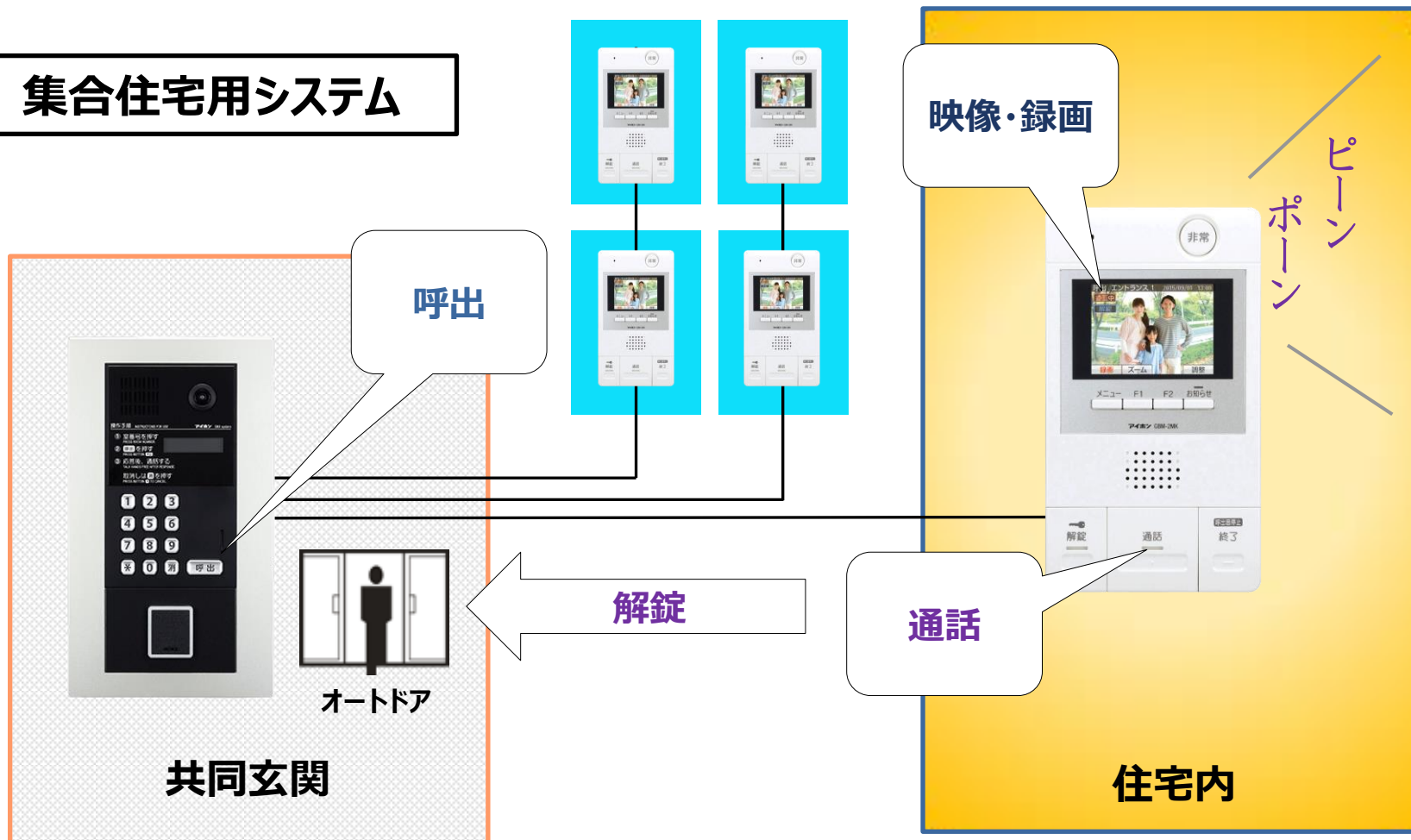
侵入をあきらめる理由は？

補助錠
セキュリティシステム
面格子
防犯カメラ
センサーライト
声をかけられた
犬を飼っていた



集合住宅市場

集合住宅用システム



集合住宅市場

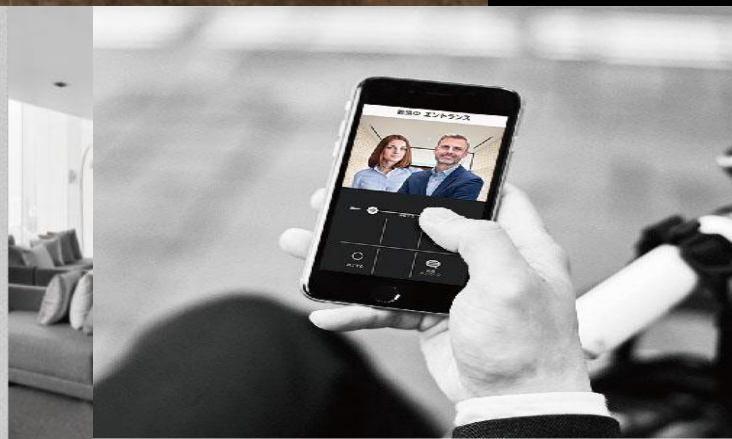
インターホンが最上級の『おもてなし』を提供



VIXUS ADVANCE

インターホンの最先端。

集合住宅用インターホンシステム
ヴィクス アドバンス



集合住宅市場

ブラウザ機能の搭載で広がるインターホンの利便性

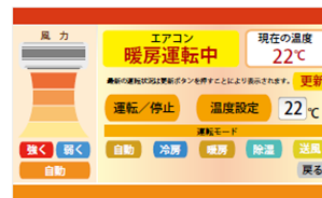
インターホン親機にブラウザ機能を搭載。インターネットに接続することで、専用コンテンツの表示が可能になりました。居住者の皆様はパソコンを起動することなく、インターホン親機で様々なサービスを利用することができます。

Internet

【コンテンツ表示画面例】



<電力使用量>



<家電コントロール>

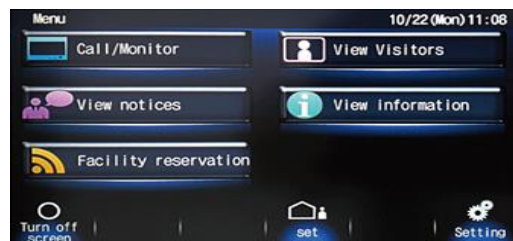


<タクシー配車>

大画面を利用して様々な情報が見える化！！

上記コンテンツ表示画面はイメージです。
詳細は当社担当者へお問い合わせください。

【バイリンガル表示画面（居室機）】



【スマートフォン使用イメージ】



テレビモニター付
インターホン居室機

ユーザビリティにも配慮
した機能も搭載！！

集合リニューアル市場

あなたのくらしをリノベーション
Renovest

市場ニーズに対応した商品でリニューアル市場の拡大を図っています！

らくタッチ Plus

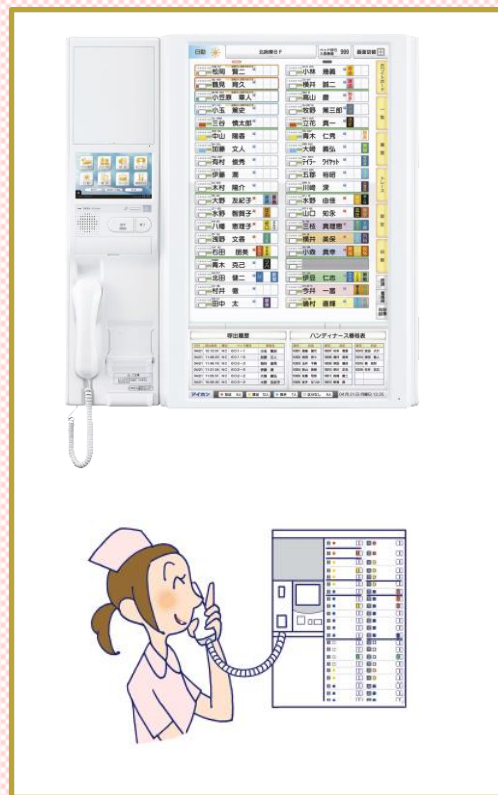


7型ワイドカラー液晶タッチパネルモニター



ケア市場

ナースコールシステム

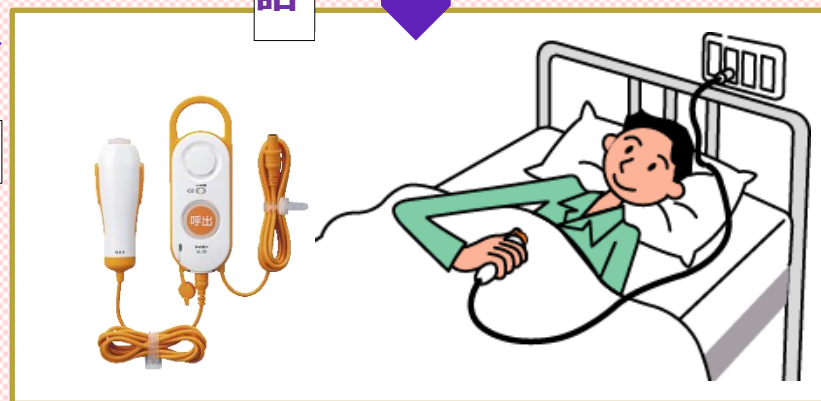


呼出・通話

駆けつけ

駆けつけ

呼出・通話



新型ナースコールシステムの採用化活動を展開！

Vi-nurse
ビーナース

安全性

ストレスフリー

シンプル

やさしさ



山梨大学医学部附属病院 様



地方独立行政法人 堺市立病院機構
堺市立総合医療センター 様



新潟大学地域医療教育センター
魚沼基幹病院 様



業務市場（オフィス・商業施設・工場・駐車場等）

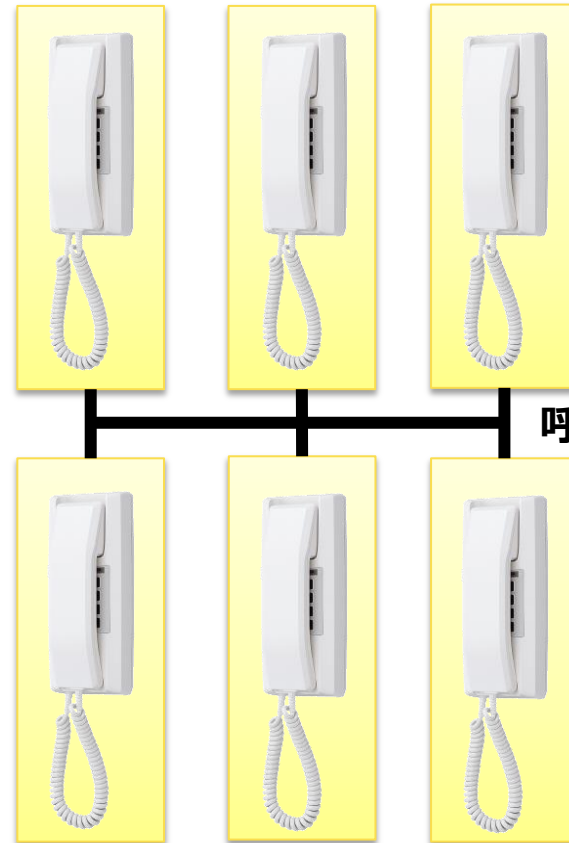
カウンターインターホン



呼出・通話



屋内施設連絡用インターホン



呼出・通話

業務市場（オフィス・商業施設・工場・駐車場等）

新たな市場の開拓、商品提案活動及び販路拡充を図る

ネットワークに対応したIPインターホンを展開！大型施設の一括管理を実現！

新IXシステム

職員用通用口

オートロックの通用口から
締め出された人の姿を防災
センターで映像確認・解錠



カメラ付ドアホン端末



ネットワークカメラ

出入口

出入口付近の様子を映像
で確認



ネットワークカメラ

防災センター

夜間の施設全体を監視。
カメラ監視とインターホン応
対を同一システムで実現



7型モニター付インターホン端末

守衛室

カメラ映像による監視のほか、
ドアホン端末・モニター付イン
ターホン端末の呼出にも対応



7型モニター付インターホン端末

ショッピングモール

一般道をはさんで建つ
建物間でも連絡や遠
隔操作が可能

配送トラック用の出入口ゲー
トの開閉作業も可能

お客様駐車場出入口
呼出時にお客様の顔が確
認できることで、より素早く
確実な対応が可能



カメラ付ドアホン端末

事務所・配送センター

夜間転送

夜間、無人の事務所の訪問
者に対して、設定した時刻の
間は別の端末へ転送可能

海外市場

1957年南アフリカへ初めて商品を輸出し、海外事業をスタート！
現在、世界約70カ国に当社の商品を輸出

大学・著名建築物

アメリカ | ホワイトハウス



カタール | カタール大学
ISシステム



フランス | モンサンミッシェル
GTシステム



駅・空港など

アラブ首長国連邦 | エティハド航空本社
AXシステム



コロンビア | エルドラド空港
ISシステム



台湾 | MRT
AXシステム



海外市場

地域別のニーズに合わせた商品による売上拡大



IS Series



GT Series



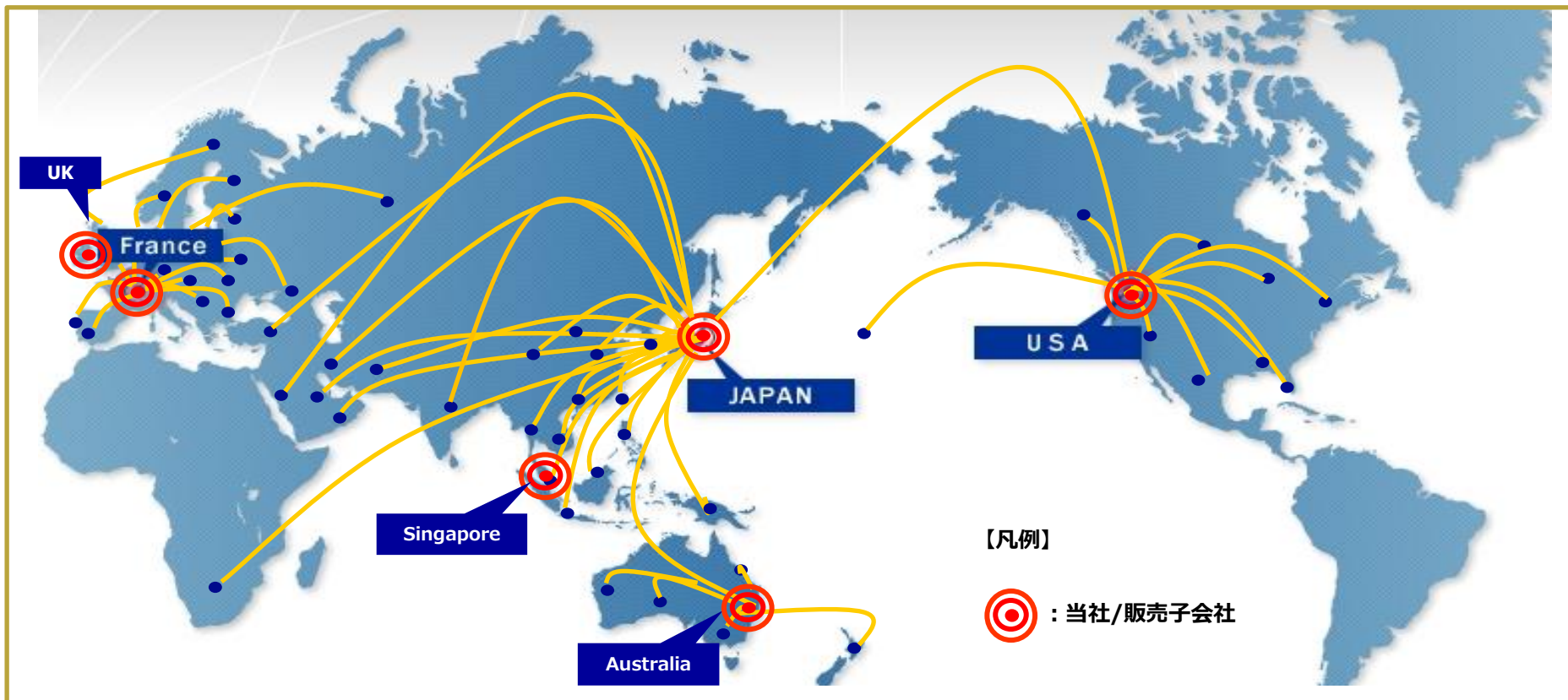
JO Series



海外市場

販売ネットワーク

各地域のニーズをより的確に捉えた施策を推進し、販売市場と売上、シェアの拡大を図る。



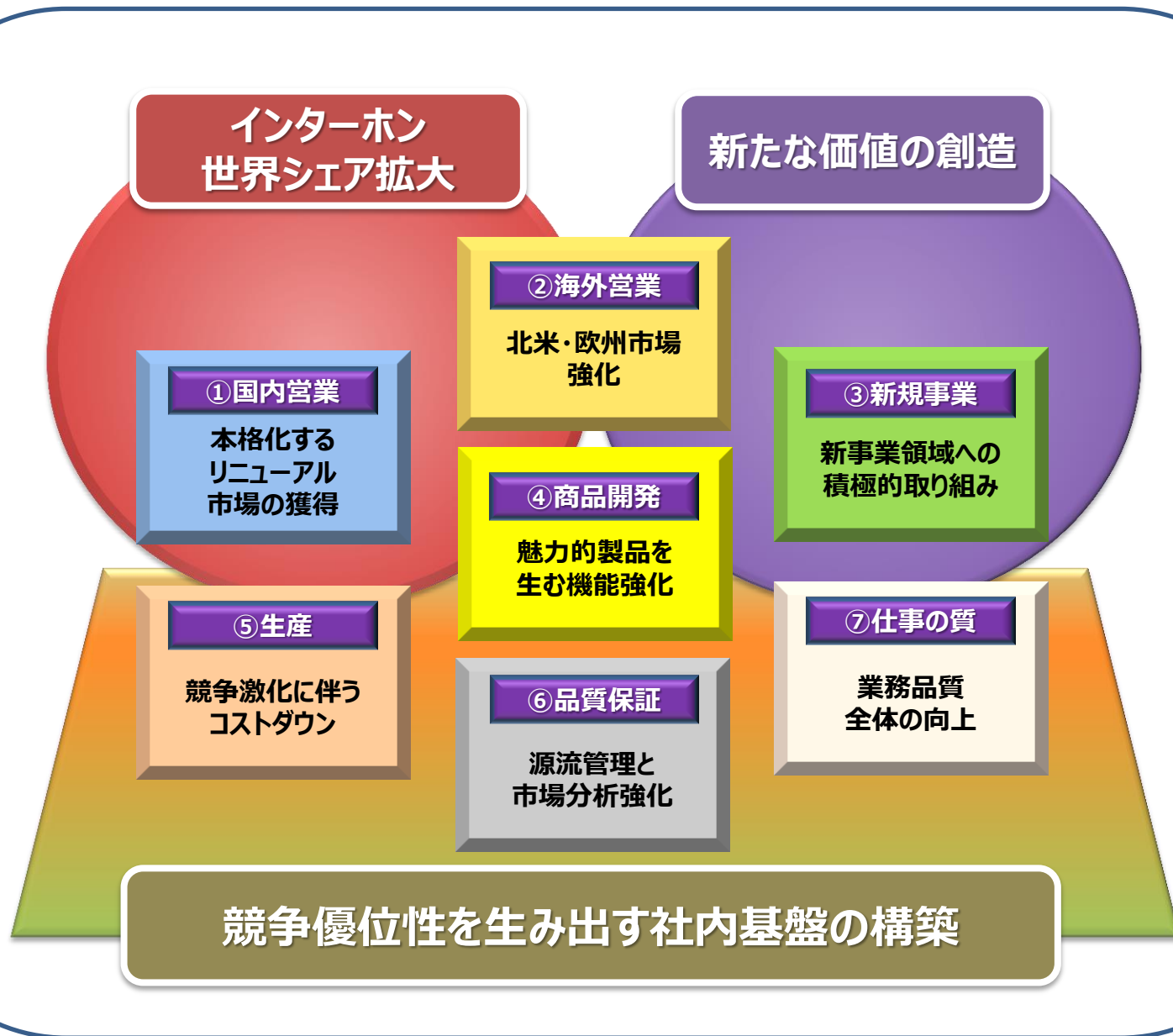
**競争優位性を生み出す社内基盤を構築し、
顧客価値拡大に繋げ目標を達成する**

第6次中期経営計画イメージ

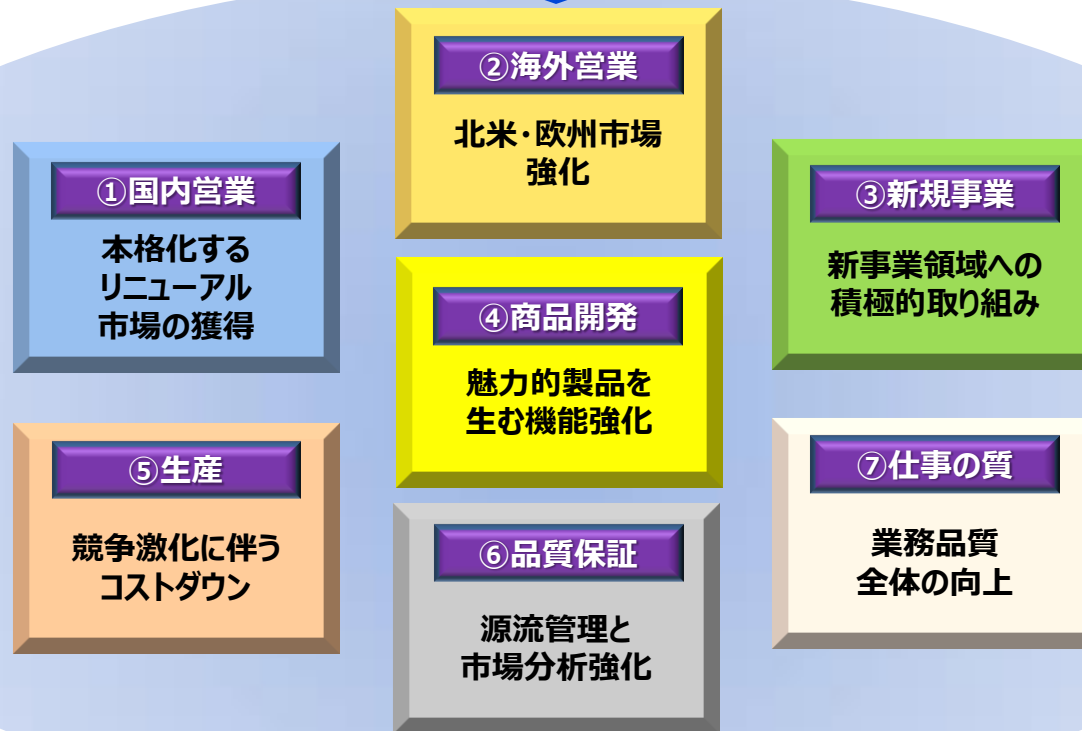


◆ 第6次中期経営計画 【戦略課題】

30



総合的品質管理 (TQM)



戦略課題

◆ 総合的品質管理（TQM）活動の徹底強化

「競争優位性を生み出す社内基盤の構築」を目指し、

TQM活動を強化

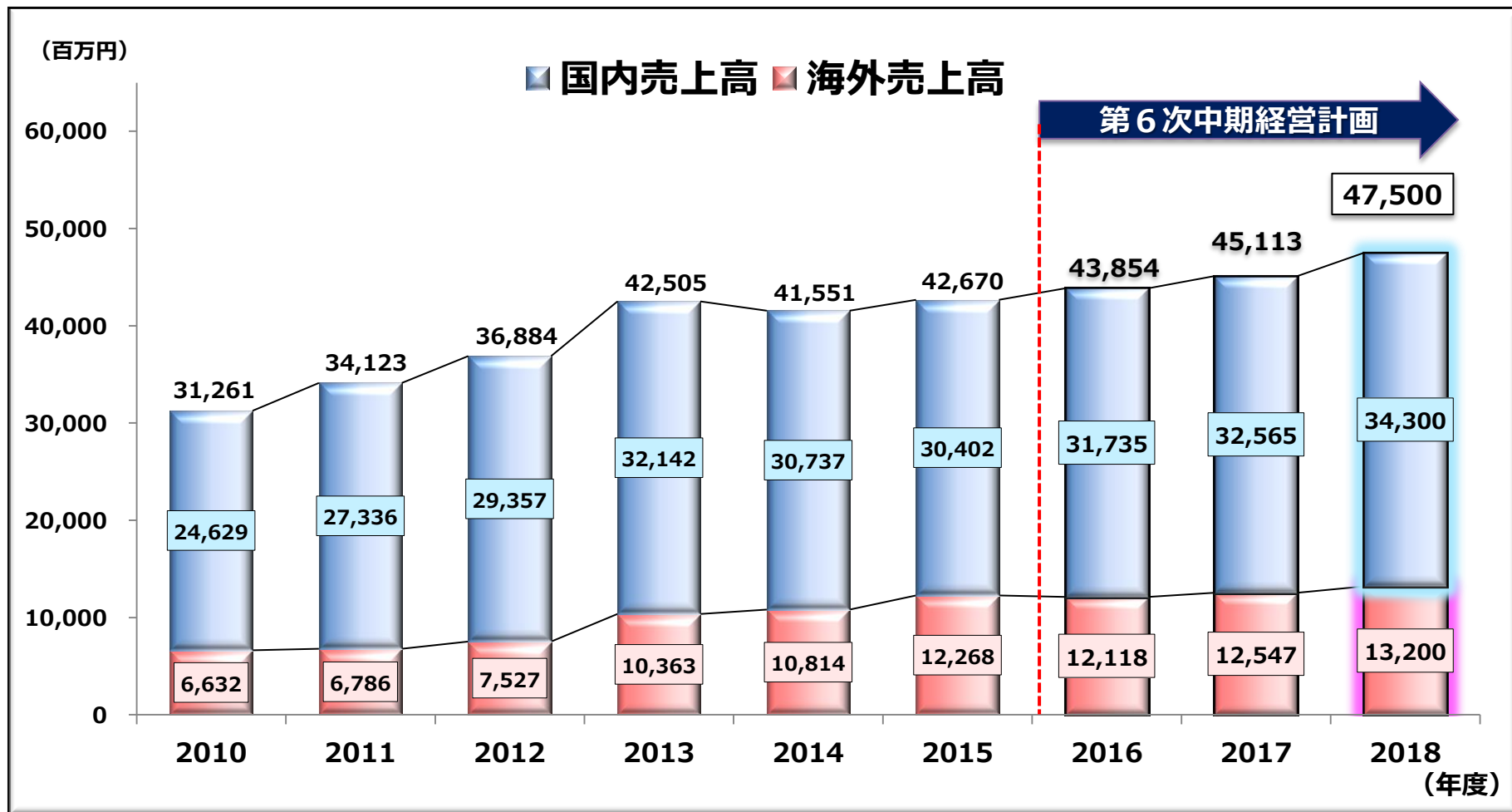


デミング賞を受賞

連結業績目標（2018年度）

33

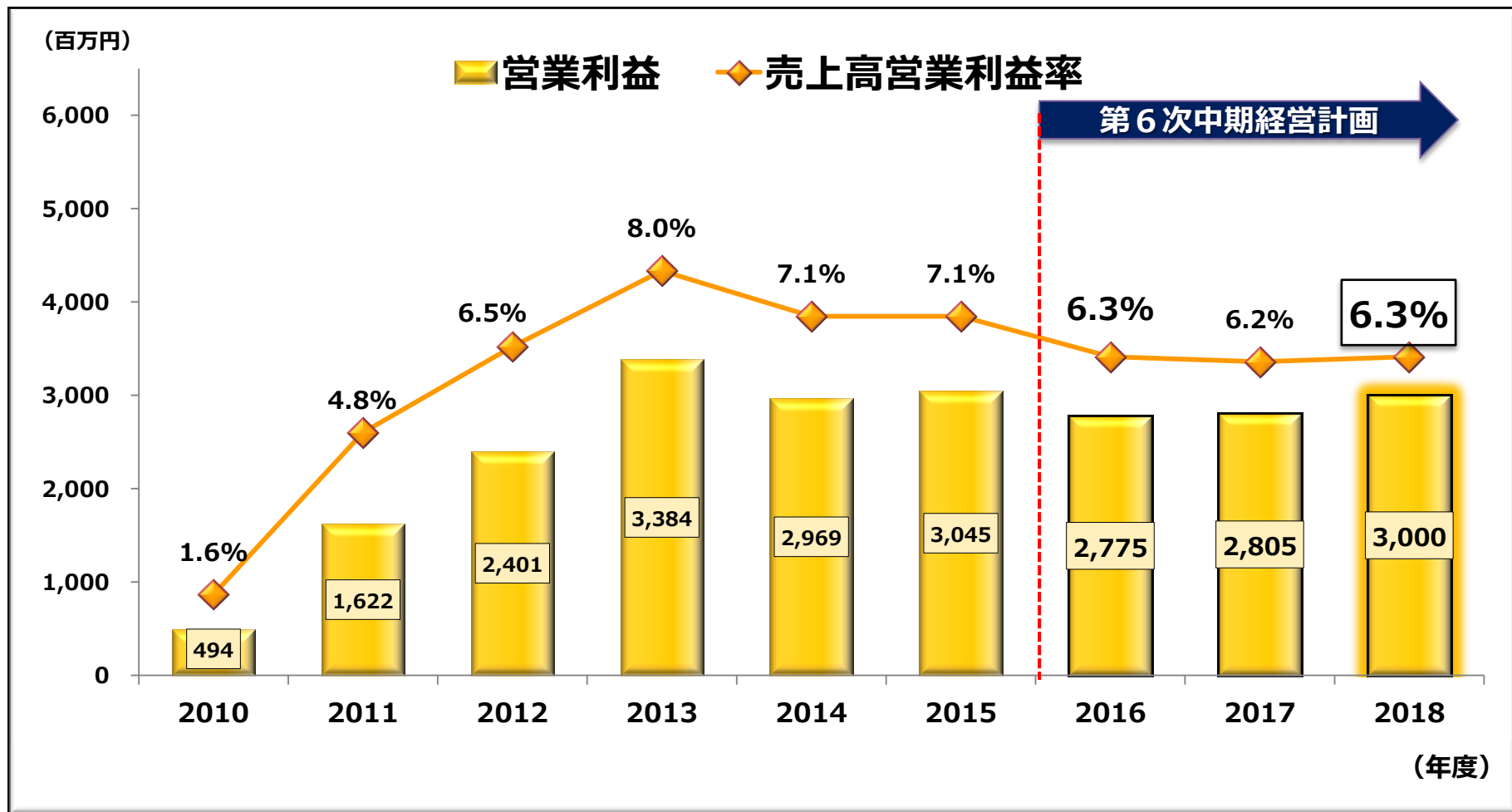
・売上高 475億円（国内343億円 海外132億円）



連結業績目標（2018年度）

34

・営業利益 30億円 ・売上高営業利益率 6.3%



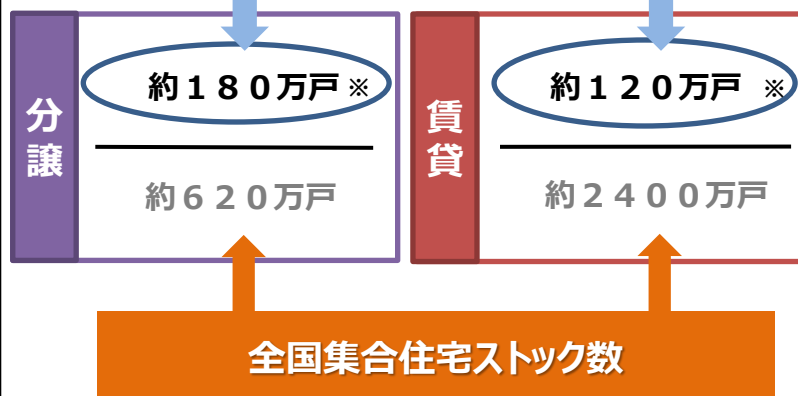
新築市場

住宅着工戸数・病院着工件数ともに継続的な増加は見込めない。

集合リニューアル

更新時期（設置から15年を推奨）を迎えるマンションストック数は年々増加しており、マーケットボリュームはピークを迎える。特に賃貸住宅のシステム更新機会は増加する。

対象マーケット住戸数

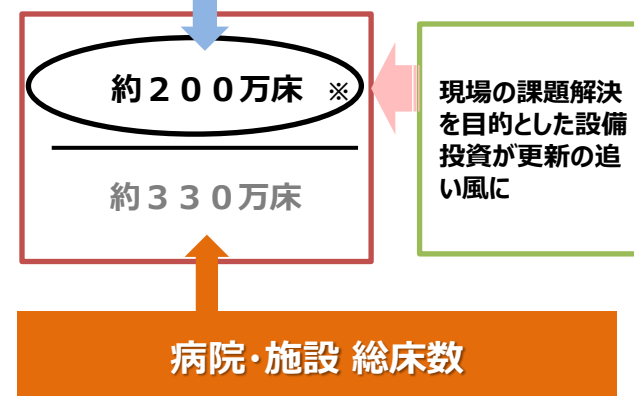


※当社推定

ケアリニューアル

病院・施設ともにナースコールシステムの老朽化（設置から12年の更新を推奨）が進む中、医療・介護の人員効率向上を図ったIT機器連携のニーズが強まり、当社ナースコールシステム「V-nurse」の需要拡大が予測される。

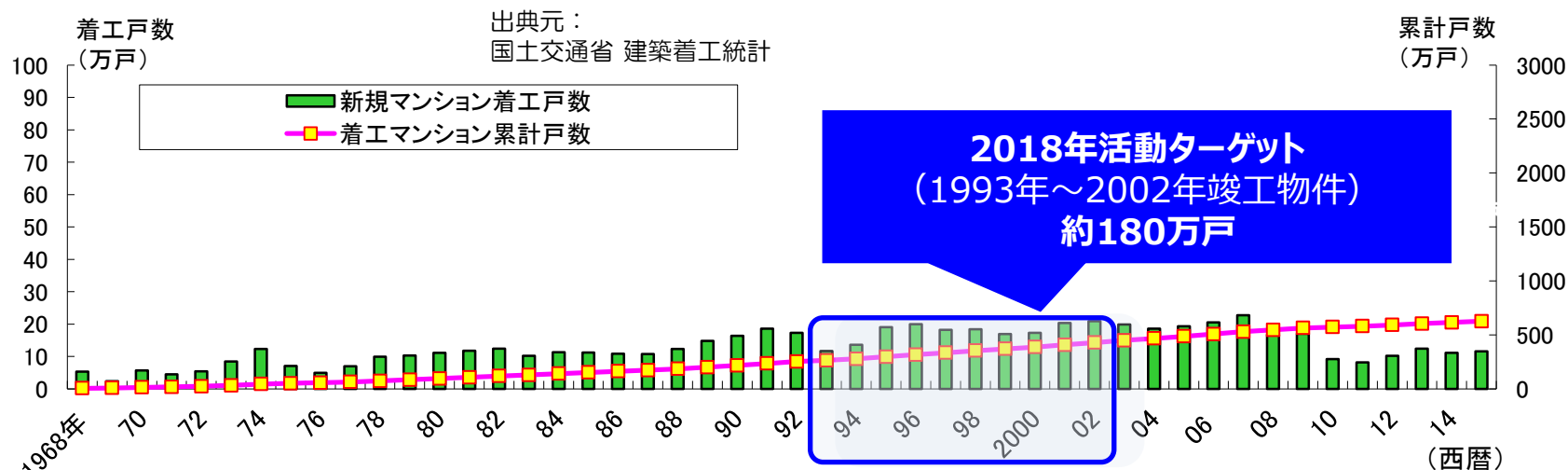
対象マーケット床数



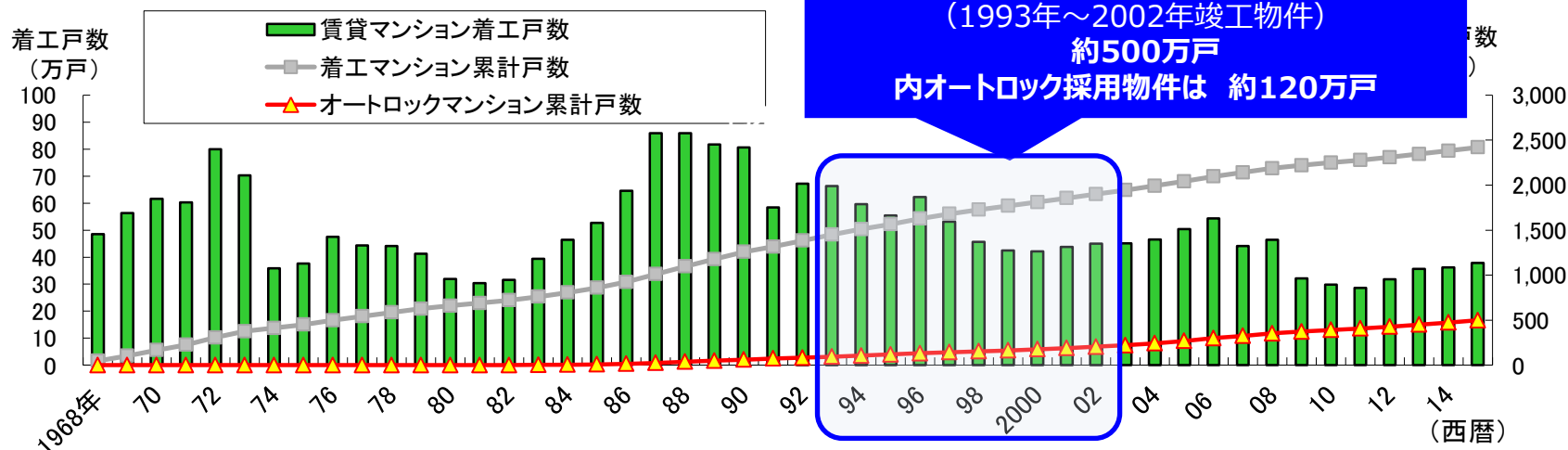
※当社推定

リニューアル時期を迎える物件の増加により
需要は分譲・賃貸ともにさらに拡大

分譲マンション 着工戸数推移



賃貸マンション 着工戸数推移



- ・分譲市場 ⇒ **リニューアル向け新商品【らくタッチPlus】を新発売！！**
- ・賃貸市場 ⇒ **受注スキームの定着、オーナーのニーズに合わせた商品・サービスを訴求**

らくタッチPlus

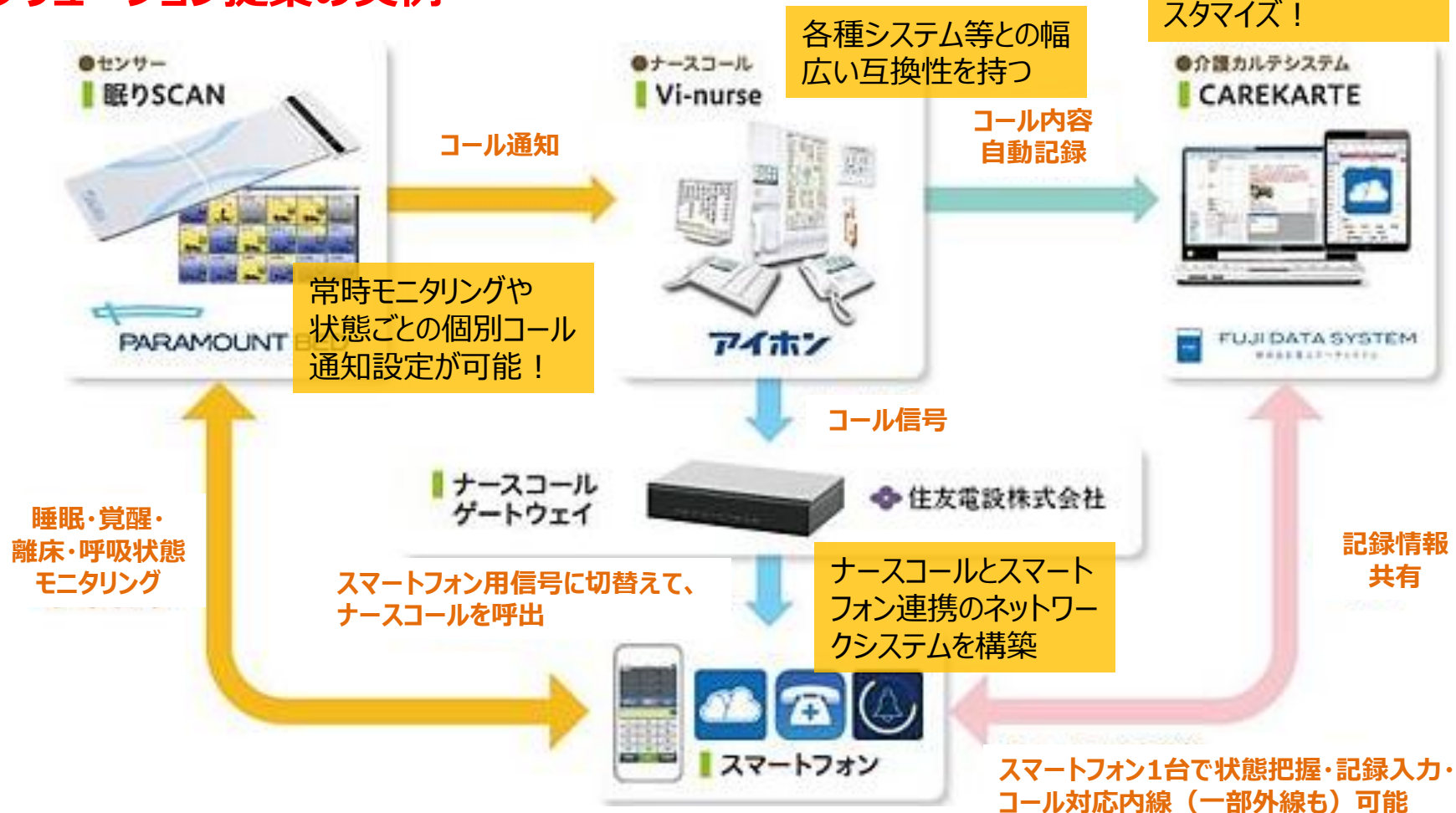


暮らしを守るセキュリティインターホン
集合住宅システム

PATMO
パトモ



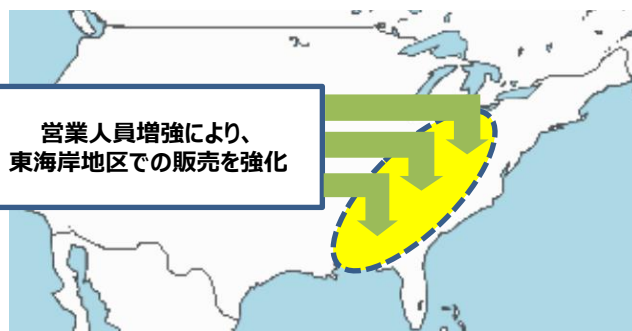
医療・介護の現場における人手不足問題解決への ソリューション提案の実例



当社にとって海外市場はまだフロンティア要素が強く、拡大余地は多く残されている。
各国地域へより密着した営業を進め、海外の市場開拓のスピードアップを図る。

北米市場

① 営業人員増強により、川上活動、
物件受注プロセス管理を強化



② レスキュー市場への本格参入

セキュリティニーズが年々拡大

欧州市場

公共住宅市場への参入

公共住宅向けアクセスコントロールシステムVIGIKと当社集合インターホンシステムがシステム連携可能となり、公共住宅市場への本格参入による活動強化が鍵である。

公共住宅市場の専任担当を配置、営業協業により受注活動を進め、市場の獲得を図る。

セキュリティニーズの高まりに応える自社営業化をさらに強化

高い評価を受けるセキュリティシステム商品の提案対象を拡大
顧客の期待を上回る営業対応で、既設の競合メーカーからの切替採用を促進

I X
システム

GT Series

新商品

New-I X
システム



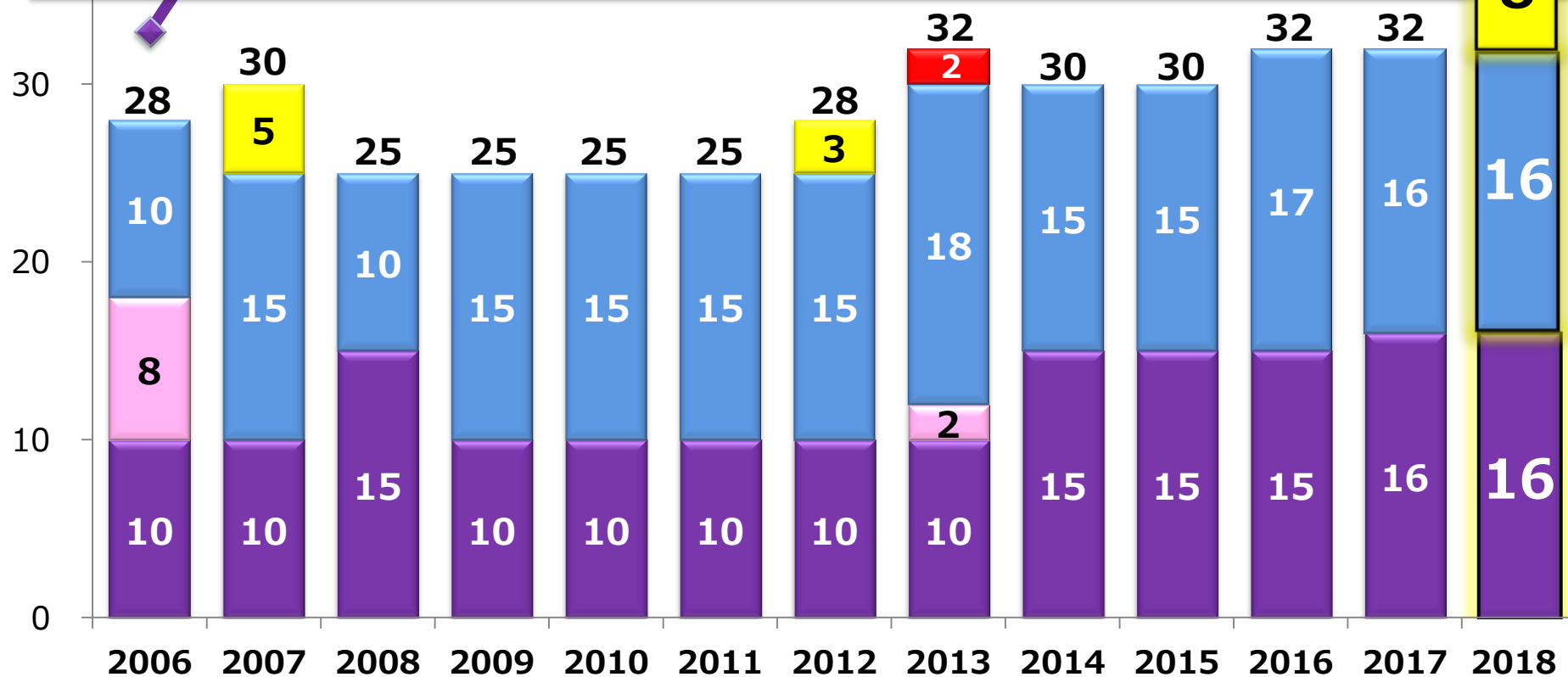
配当予定

- ・ 1株当たり中間配当 **16円**
- ・ 1株当たり期末配当 **16円**
- ・ 1株当たり記念配当 **8円**

1株当たり年間配当

40円

8



配当予定

- ・ 1株当たり中間配当 **16円**
- ・ 1株当たり期末配当 **16円**
- ・ 1株当たり記念配当 **8円**

1株当たり年間配当

40円

8



今後の配当方針につきましては、長期的な視点に立った**安定的な配当の継続**を念頭に置きつつ、株主の皆様へのより一層の**利益還元の実施**に向け、引き続き見直しを行ってまいります。



証券コード： 6 7 1 8

**Communication
&
Security**

本資料に掲載されております業績予想や将来予想は、現時点において入手可能な情報に基づき、当社が判断して予想したものであり、実際の業績は今後の様々な要因の変化により予想とは異なる結果となる可能性があることをご承知おき下さい。

弊社ウェブサイト
<https://www.aiphone.co.jp/>

MEMO

MEMO
